

# 関係旧社の沿革

## NS建材販売株式会社

2024年4月1日時点

### 旧 NSSB建材株式会社の沿革

1947年	6月	明治鉱業（炭坑経営会社）の商事部門が分離され、住友金属の鋼管特約店として明治興産株式会社を設立
1977年	6月	住金物産株式会社が経営に参加し、役員派遣及び当社株式保有を開始
1989年	6月	前身である明治興産株式会社の営業権譲渡を受け、明興株式会社を設立
2001年	11月	明興株式会社から住金物産建材株式会社に社名変更
2013年	10月	社名をNSSB建材株式会社に変更

### 旧 富岳物産株式会社の沿革

1969年	11月	富士三機鋼管(株)の指定加工工場であった(株)宝永工機の鋼管加工製品の販売を主な目的として設立
1971年	4月	新日本製鐵(株)と日鐵建材工業(株)の特約店指定を受け、鋼管、鋼材、土木・建築加工製品の販売を開始
1980年	5月	土木加工製品の拡販のため、東京都知事許可の建設業許可を取得
1986年	7月	日鐵建材工業(株)及び多摩鋼管工業(株)（現・日鉄鋼管(株)）が資本参加
1999年	10月	倍額増資し、新日本製鐵(株)並びに日鐵建材工業(株)の連結子会社化
2005年	1月	土木工事業、塗装工事業、建設工事業の建設業許可を追加取得
2012年	1月	日鐵住金建材(株)の土木商品商権維持を目的に、東商事建材販売(株)と事業統合

### 旧 NST三鋼販株式会社の沿革

1977年	6月	富士鉄鋼資材(株)設立
1996年	7月	東京管材(株)と合併
1999年	10月	東邦鋼管(株)と合併
2006年	10月	渡辺パイプ(株)マテリアル部門を事業譲渡により取得
2007年	4月	佐藤鋼管(株)及び三井物産線材販売(株)と三社合併 同日付で商号を三井物産鋼材販売株式会社とする
2008年	4月	野水鉄興(株)と合併
2013年	4月	日鐵商事(株)が同社へ出資（約20%：三井物産スチール(株)より取得）
2014年	9月	三井物産スチール(株)の一部とメタルワン建材(株)の事業統合により、 同社を会社分割（三鋼販東日本(株)を新設分割）
2014年	10月	三鋼販東日本の日鉄住金物産持分約20%（全株）を三井物産スチールへ売却 同時に同社株式の約3.98%分を追加取得（三井物産スチールより取得）
2018年	4月	三井物産スチール(株)持分を追加取得し、日鉄住金物産100%株式取得
2019年	4月	NSSB三鋼販株式会社より社名変更

## 旧 日鉄物産鉄建関東株式会社の沿革

1960年	1月	嶋根守次が埼玉県朝霞市膝折で「朝霞兄弟社」を個人開業
1963年	8月	(有)嶋根鋼商設立、資本金1百万円
1986年	9月	川越工場竣工 操業開始
1988年	8月	資本金50百万円に増資
1991年	10月	江南加工センター竣工 操業開始
1991年	11月	新日本製鐵(株)よりハイパービームの優秀加工任天を受ける
1994年	1月	丸鋼管の切断・開先・溶接加工設備を設置
1998年	10月	日鐵商事(株)18%資本参加
2006年	6月	日鐵商事(株)100%資本参加
2006年	9月	日鐵商事鉄鋼建材埼玉(株)に社名変更
2010年	5月	川越工場を閉鎖し、本社機能を含め江南工場へ集約
2010年	10月	群馬鉄鋼販売(株)から事業を引継ぐため、群馬営業所を開設
2013年	10月	日鐵商事鉄鋼建材埼玉(株)から日鉄住金物産鉄建関東(株)に社名変更
2014年	7月	日鉄住金物産鉄建関東(株)から社名変更

## 旧 エスケイ工事株式会社の沿革

1955年		日本ビテイ(株)設立
1964年		日本で最初に仮設スタンド保有(約27,000席) 東京オリンピック・パラリンピック開催(国立競技場他13会場27,000席施工)
1965年		東京オリンピック・パラリンピック以後、国民体育大会開閉会式会場に採用される
1972年		札幌冬季オリンピック開催(12会場10,000席施工)
1972年		プロゴルフトーナメントに採用される
1977年		日本ビテイ(株)が住金鋼材工業(株)へ統合
1988年		鈴鹿F1日本グランプリに採用される
1997年		住金鋼材工業(株)が住友金属建材(株)に商号変更 エスケイ工事(株)設立、住友金属建材(株)グループの一員となる
1998年		長野冬季オリンピック開催(ビッグハット他13会場30,000席施工)
2006年		日鐵建材工業(株)と住友金属建材(株)の事業統合により、日鐵住金建材(株)発足 日鐵住金建材(株)グループの一員となる
2019年		日鐵住金建材(株)が日鉄建材(株)に商号変更 日鉄建材(株)グループの一員となる